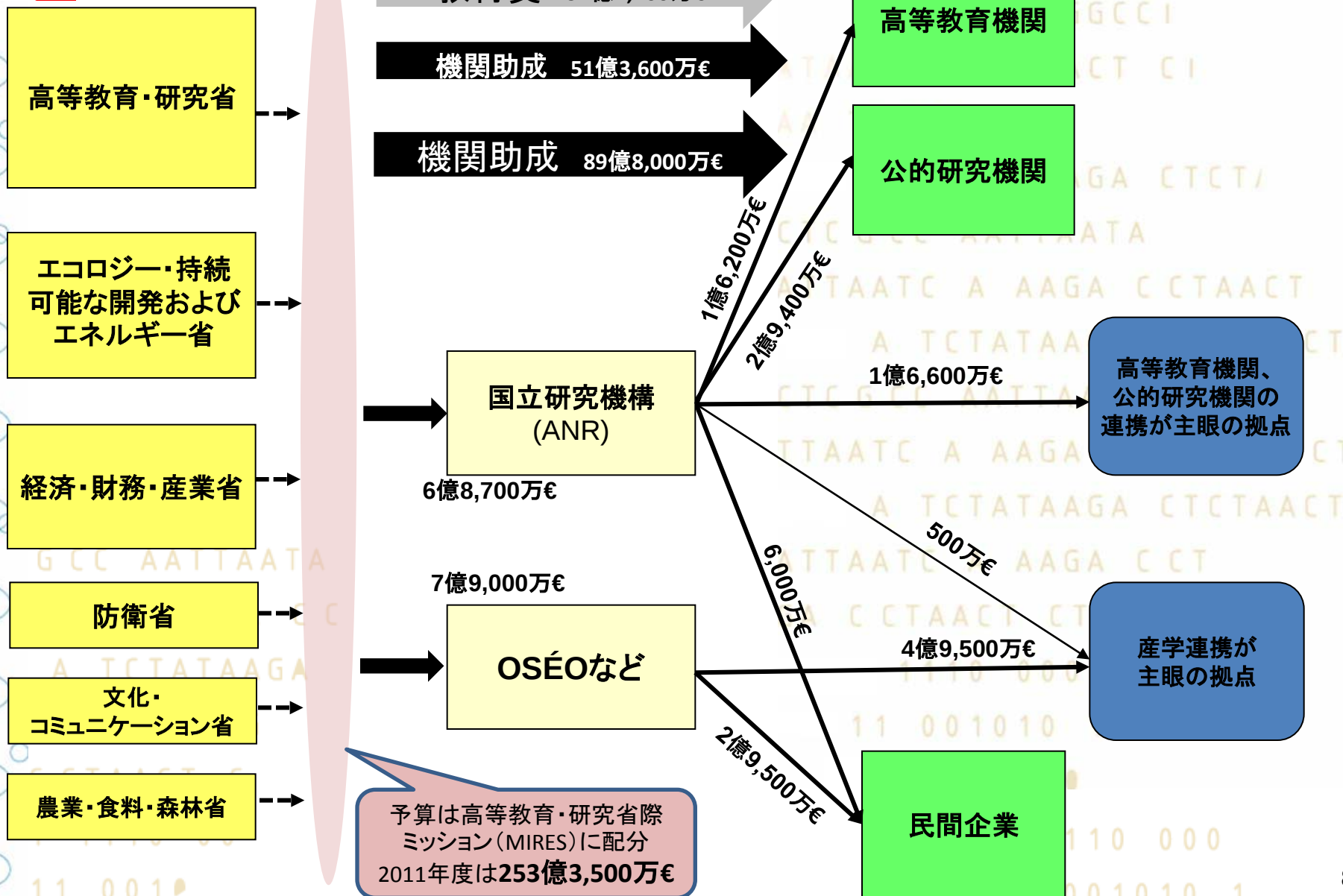


資金フロー

* 組織名は
2011年度現在



行政機関

配分機関・評価機関

実施機関・プログラム

出典: Data.gouv, Exécution 2011 du budget général en CP、ANR 年次報告、競争力拠点のウェブサイトをもとにCRDS 作成

明示的な優先事項と暗黙的な優先事項

- 2005年以降の改革: 選択と集中への道筋
 - 初のFA(国立研究機構(ANR)及びOSÉO)は2005年の設立
 - ANRでは、テーマ型とノンテーマ型の研究に対し半々の割合で資金配分
 - 国の研究・イノベーション戦略(2009) ← 明示的な優先事項
- 国の研究・イノベーション戦略(SNRI)
 - 09年に策定された、フランス初の国レベルでのイノベーション戦略
 - 3つの優先分野: ①医療、食料、バイオ、②環境、エコテクノロジー、③ICT、ナノテク
- 機関助成中心のシステム(機関助成の割合が約9割)
 - 国立研究センター(CNRS)や原子力・新エネルギー庁(CEA)等の強い国立研究機関
 - 国威発揚のための研究(航空・宇宙・原子力等)という歴史の影響
→ 暗黙的な優先事項

ANRのプログラム

■ 2タイプのプログラム: テーマ型、 ノンテーマ型

■ テーマ型

- 科学技術領域に基づく
- SNRIに基づいたプライオリティセッティング

■ ノンテーマ型

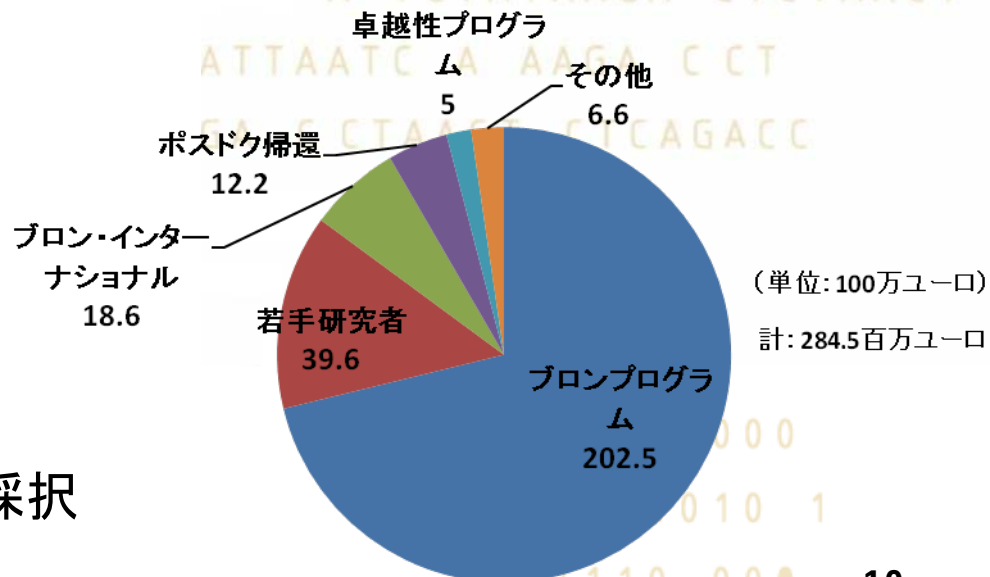
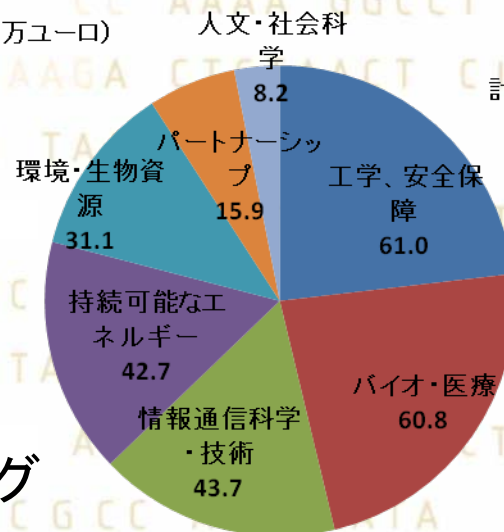
- ブロン(自由)プログラム
- 若手研究者プログラム
- ポスドク帰還プログラム
- 卓越性プログラム

■ レビュアーの35%は海外人材

■ 科学的な側面の評価

→経済・社会的な側面の評価→採択

(単位: 100万ユーロ) 計: 約260百万ユーロ



「将来への投資」により出現した大規模拠点

■ 「将来への投資」プログラム

- サルコジ大統領の強いリーダーシップ下で行われた、220億€の国債発行を含む大規模投資(総額350億€、うち高等教育・研究関連は219億€)
- 219億€のうち179億€はANRによるプロジェクト公募により配分
- IDEX(イニシアチヴ・エクセレンス): フランス国内に、世界的なレベルの研究拠点を8つ作るプログラム

■ パリ-サクレー拠点: IDEX最大の拠点

- 27の大学、グランゼコール、公的研究機関及び企業から成る拠点
- 2010年からの10年間で総額22億ユーロの投資が決定
- 10年以内に世界で10番以内の大学になることを目標
- ICT、物理学、数学、農学等での研究に強みをもつ

■ 「将来への投資」内の複数のプログラムに採用

- IDEXのみならず、LABEX(優れた研究室)、EQUIPEX(優れた研究設備)等の、他の複数のプログラムにも応募可能なシステム

→特に優れた拠点に多額の投資が行われる構造

(一つの拠点を多角的に評価することによる)